

	【義務教育卒業時につけたい英語力】外国語やその背景にある文化の多様性を尊重し、他者に配慮しながら、日常生活レベルの情報を聞くこと・読むこと・話すこと・書くことによる実際のコミュニケーション場面で活用することができる。								
発達段階	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
目 標 (1)知識及び・技能 (2)思考力・判断力・表現力等 (3)学びに向かう力・人間性等	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による言語活動を通してコミュニケーションを図る力を育成する。								
	「聞く」「話す」言語活動を通してコミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成する。			「聞く」「読む」「話す」「書く」言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。			コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成		
	(1) 音声やごく基本的な表現への慣れ親しみ (2) ごく身近で簡単なことを聞いたり話したりして自分の考えや気持ちを伝える力の素地の育成 (3) コミュニケーションを図ろうとする態度の育成			(1) 言語や文化への体験的な理解 ・日本語との音声の違いへの気付き ・音声や基本的な表現への慣れ親しみ (2) 身近で簡単なことを聞いたり話したりして自分の考えや気持ちを伝え合う力の素地の育成 (3) 言語文化への理解 ・相手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成			(1) 日本語との違いへの気付き、知識理解 (音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働き)、読み書きへの慣れ親しみ/4 技能をコミュニケーションで活用できる基礎的な技能の育成 (2) 目的、場面、状況に応じ、身近で簡単な事を聞く、話す。語彙や表現を推測しながら読む。/語順を意識して書く/自分の考えや気持ちを伝え合える基礎的な力の育成 (3) 文化を理解し、他者に配慮し、主体的なコミュニケーションを図ろうとする態度の育成		
				「よんきゅう絆ふりかえりパスポート」めあてと振り返りの明確な授業を構築する			「よんきゅう絆意識調査」卒業時・入門期に実施・分析		
聞く	・音声や基本的表現に慣れ親しむ。 ・ごく身近で簡単なことを相手が簡単な英語でゆっくりはっきりと話した内容の大体がわかる。			・自分や身の回りのものを表す表現を聞いて分かる。 ・文字の読み方を聞いてどの文字か分かる。			・自分や身近で簡単なことについて、簡単な語句や基本的な表現を開き取ることができる。 ・日常生活のことを聞きとり短い話の概要をとらえることができる。		
読む	よんきゅう絆低学年カリキュラム			「よんきゅう絆アクティブ・リスニングリスト」反応しながら聞く姿勢を育てる					
話す (やり取り)				・ジェスチャーを使って、挨拶、簡単な指示、自分や身の回りのことを基本的な表現を用いて伝え合ったり質問し合ったりする。			・指示や依頼ができる。身近なことについて、自分の思いを基本的な表現を用いて伝え合うことができる。 ・自分や相手、身の回りのものについてその場で質問したり質問に答えたりして伝え合うことができる。		
話す (発表)	・ごく身近で簡単なことを尋ねられたら体で反応し簡単な表現で答える。			・実物を見せ、自分や身の回りのことを基本的な表現を用いて話す。			「よんきゅう絆アクティブ・リスニングリスト」相手の言うことに反応し、往復のやり取りをしようとする姿勢を育てる		
書く				・内容を整理した上で、身近なこと、自分のことについて、自分の思いも含め、基本的な表現を用いて話すことができる。			小中乗り入れ授業①「将来の夢を紹介しよう」(小6・中2)		
				・大文字・小文字を活字体で書くことができる。 ・語順を意識しながら基本的表現を書き写すことができる。 ・自分のことや簡単なことについて例文を参考に基本的表現を用いて書くことができる。			小中乗り入れ授業② 「書くこと」への興味づけ		
							よんきゅう絆 春休みの宿題 (小6)		

*小学校における「読むこと」「書くこと」の指導は、いずれも音声で十分に慣れ親しんだ上で行うこととする。
*これらの目標は全て外国語を通して養うものとする。
*目標達成に向けた「よんきゅう絆 英語スタンダード13」の取組を推進する。 に一部記載。